

## 花山震災復興の会「がんばっぺ」設立趣意書

去る6月14日の岩手・宮城内陸地震は、ここ花山にも甚大な被害をもたらしました。

金沢地区・中村地区・浅布地区の71全世帯は、現在もそれぞれ避難指示・勧告により避難生活を余儀なくされていますし、一般家屋・温泉施設・商店等の建物をはじめ、避難地域の農・酪・林・漁・商業は大きな被害を受け、多くの方が職を失いました。

避難地域外でも地割れ・がけ崩れがあり、程野地区1世帯が避難生活をしているほか、家屋や営業にも被害が出ております。

この間、国・宮城県・栗原市や自衛隊・日赤・各地の救急隊・社会福祉協議会には懸命な救助・復旧・支援作業をいただきましたし、近隣のお医者さん・保健師・栄養士・理学療法士・ヘルパーの皆さん・地域のお母さん方、そしてなにより全国から支援して下さった皆さんには大変お世話になりました。

さて、震災から3ヶ月が経ち、行政関係機関は復興に向けてハード・ソフト両面での施策を展開しておりますが、被災生活者の多くは未だ生活再建の目途を立てられない状況にあります。

行政関係機関の施策にも限界があり、被災者の要望との調整や住民独自の活動が求められております。

このような状況に鑑み、震災を単に避難地域のみならず花山全体の問題として捉え、花山の住民みんなで、支援して下さる多くの方々と連携しながら、被災住民の生活再建とコミュニティーの再生そして何より花山の復興を目指して、花山震災復興の会「がんばっぺ」を設立することといたしました。

つきましては、ぜひ会の趣旨にご賛同いただき、ご参加くださいますようお願いいたします。

平成20年9月19日

花山震災復興の会「がんばっぺ」設立準備会  
代表 大山 幸義